

Rotary



# 稲沢ロータリークラブ週報

承認日：昭和38年（1963年）12月6日 会長：永井伸治／副会長：小島洋一  
 例会日：毎週水曜日 12：30～13：30 幹事：金森貴史／編集：広報会報委員会  
 例会場：尾張大國霊神社（国府宮） E-mail [rcinazawa@gmail.com](mailto:rcinazawa@gmail.com)  
 稲沢市国府宮一丁目1番1号 URL <http://www.inazawa-rc.org/>  
 事務所：〒492-8213 稲沢市高御堂1-2-1（林商事ビル1階）  
 電話：0587-24-0740 FAX：0587-89-0265 事務局携帯電話 090-4853-5262



世界に希望を生み出そう

2023-24 RI会長  
 ゴードン R. マッキナリー

～稲沢RC2023-24年度会長方針～  
 創立60周年を祝おう ROTARYで  
 つながろう 未来へつなげよう

本日の例会プログラム 第2839回例会 11月8日（水）

例会場：尾張大國霊神社 幸福例会 会員表彰

第5回理事会（13：30～）IAC例会（17：00）



## 第2838回例会報告 10月18日(水)晴れ No.14

☆点 鐘☆	会長 永井伸治
☆司 会☆	会場委員長 近藤尊敬
☆唱 和☆	四つのテスト
☆ビジター☆	
☆会長挨拶☆	会長 永井伸治



14日（土）に秋の家族会をホテルインディゴ犬山にて開催しました。また、昨日、西尾張分区ゴルフコンペが春日井CCにて開催されました。ご参加の皆さん、お疲れさまでした。今月10月は、ロータリー特別月間の内「地域社会の経済発展月間」です。これは、ロータリーの7つの重点分野の一つで、貧困地域の経済発展を目的とした「能力・スキル向上」「生産性の高い仕事の創出」「専門職業人のための奨学金支援」などを強調する月間です。

私は、昨年度までの8年間、地区ロータリー財団委員会のポリオプラス/職業研修チーム委員会に出向していましたので、このことについてお話しします。

まずは、「職業研修チーム」についてですが、英語では“Vocational Training Team”と訳され「VTT」と略されます。日本の専門家チームを海外に派遣して技術指導を行い、また、

海外の専門家チームを日本に招聘して実際に技術を見聞してもらうものです。当地区は、このVTT事業を国内で最も活発に行っており、2013-14年度より、相手国はフィリピン、マレーシア、インドネシアネパールなどです。

職業研修は、医療分野では、感染症対策や腹腔鏡手術の技術指導を行い、派遣した名市大病院のドクターが訪問先で特別に医療行為の許可を得て指導に当たっていただきました。これにより、東南アジア諸国の医療水準を上げ、医療難民を減少させることにつながります。

また、農業分野では、岡崎市のシャインマスカット農家の協力を得て、タイのブドウ農家にシャインマスカットの生育方法を伝授していただきました。これにより、貧困農家が効率よく農作物の生産と流通ができ、地域の生活水準の向上が図れます。

これらは、グローバル補助金を活用して、毎年約5万ドル規模の事業を行っています。

次に、ポリオプラスについてです。ポリオとは、脊髄性小児マヒのことで不衛生な環境でヒトからヒトへ、口からウイルスが侵入することで感染します。マヒが発症すると回復は困難ですが、ワクチン接種で予防ができます。

国際ロータリーは、WHOと共に35年以上前からポリオ根絶運動を行ってきました。1988年に国際ロータリーがポリオ根絶運動に参加

### ★出席報告★ 報告者：会員組織委員長 加藤太平

会員総数	56名	前々回修正	10月4日
出席	37名	出席	43名
会員数	(内免除 6名)	会員数	(内免除者 8名)
欠席者数	19名	メイクアップ数	3名
	(内免除者 6名)		
出席率	74.00%	修正出席率	88.46%

### ☆例会臨時変更通知☆

クラブ名	月/日(曜日)時間	メイクアップ会場

今週のメイクアップ 服部孝徳・山田典永・宮崎忠広

### ☆例会日程☆

11月15日(水)	11月16日(木)18:00	11月22日(水)	11月29日(水)12:30
16日の夜間例会へ振替 IAC例会(17:00)	夜間例会 カフェサルーテ 16:00	休会(定款7-1)	クラブ・アッセンブリー 地区大会報告

した頃、それまで世界のポリオ発症者数は35万人以上でしたが、1998年には6,227人、2008年には1,651人、2018年には33人と激減を辿り、現在では、野生株のポリオウイルスが残るのはパキスタンとアフガニスタンの2か国のみとなりました。しかし、この両国は、宗教と民族の問題による紛争が続いており、ポリオワーカーと呼ばれるワクチン接種従事者が紛争地や山岳部でワクチン接種を行うことが極めて困難です。ポリオ根絶は「あと少し」のところまで参りましたが、それを完遂するにはまだまだお金がかかります。皆さんから納めていただいた会費から毎年一人30ドルがロータリーポリオプラス基金へ寄付されています。会員各位には、このことを再度ご周知いただきたいと思ひます。また、同基金へ毎年100ドル寄付をお約束いただき登録されますと「ポリオプラスソサエティ」の認証が与えられ、登録証と認証ピンバッジが贈られます。既に30ドルは会費より納めていただいておりますので、毎年70ドルを用途指定して寄付いただければ認証していただけますので、ご協力をお願いします。

「ポリオプラス」の“プラス”とは、はしか、ジフテリア、破傷風、百日咳、結核の五つの病気を指し、ポリオだけでなく、これらの病気も含め予防接種を実施することになり、ポリオ根絶活動からポリオプラスプログラムとなりました。

もう一つの意味として、ポリオ根絶活動に重ねて、ポリオ常在国の経済支援を行い、医療や衛生環境を改善し、子どもや女性への教育を支援し、仕事に就く機会を提供することにより、恩恵が生まれることが“プラス”の意味です。

10月24日は、WHOが定めた「世界ポリオデー」です。この機会に「ポリオプラスプログラム」へのご認識を深めていただきたいと思います。

～Today's Information～ ◆◆報告事項◆◆  
◆◆幹事報告◆◆

幹事：金森貴史

◆11月10日に預託金から、秋の家族会登録料（お茶室に参加した方はその費用も）、分区ゴルフ登録料、地区大会出席義務者登録料の半額、新会員オリエンテーション参加費用（入会3年未満外の会員）を引き落としいたします。本日各会員へ明細をお渡ししますので、ご確認いただき預託金残高もお確かめください。請求書でお振込みの方法を選択されている方は、本日請求書をお渡しします。内容をご確認の上、お振込みくださいます様お願い致します。

◆地区大会の名札とリーフレットを配布しました。当日忘れずお持ちください。

◆11月はロータリー財団月間です。ロータリー財団のリーフレットを配布しましたのでご一読ください。

◇◇会員組織委員会報告◇◇  
報告者：会員組織委員長 加藤太平

○100%出席表彰者（9月末調べ）

永井伸治	20年6ヶ月	奥 智子	2年
川合正剛	11年	菅原勝行	2年
加藤太平	8年6ヶ月	山崎晃司	2年
鈴木杏奈	5年6ヶ月	石黒港	6ヶ月
近藤尊敬	2年	伊藤賢治	6ヶ月

◇◇親睦活動委員会報告◇◇  
報告者：親睦活動委員長 新井仁志

○11月の誕生日祝福

西村郁夫	6日
吉川未佐子	17日
山田典永	23日
林 茂 一	27日

○会員配偶者誕生日

岡田義夫夫人	留美様	11日
永井伸治夫人	恭子様	18日
原 武史夫人	とも子様	18日
後藤啓行夫人	咲子様	21日
宮崎忠広夫人	麻理様	25日
山田典永夫人	恵子様	27日
三根健一夫人	美智子様	29日

○結婚記念日

林 茂夫	4日	永井伸治	22日
三根 健一	4日	後藤貴浩	23日
金森貴史	10日	新井仁志	24日
加藤健司	21日	山内健嗣	27日

◇◇ニコボックス報告◇◇  
報告者：ニコボックス委員長 水野厚司

前月ニコボックス（くじ・花含む）	251,000円
2023-24年度 累計	420,000円

新井 秋の家族会多くのメンバーとご家族でご参加いただき、ありがとうございます。

横井 家族会、楽しませて頂きありがとうございます。

石黒 秋の家族会に参加させていただき交流を楽しませていただきました。皆様に感謝。

林茂一 昨日の分区ゴルフ、ドタキャンで大変申し訳ありませんでした。特に太平くんごめんなさい。

加藤(太) 昨日の分区ゴルフお疲れ様でした。茂一さんの欠席が残念でたまりませんでした。

伊藤(彰) 新井さん、昨日はありがとうございます。

山田 山本さん新井さんのお世話になりました。

加藤(太) 石黒港さん昨日はありがとうございます。次回は私が車を出しますね。

田中 昨日、新しい家族が増えました。その名前はジムニーです。

山脇・宮崎・近藤(尊) 家族会欠席のお詫び

近藤(治) 長い間例会欠席のお詫び

橋本・成田 業務多忙 早退のお詫び

永井・小島・金森・鶴飼・入山 卓上花をいただいて



## ◇◇イニシエーションスピーチ◇◇ 石黒港 会員

本年の4月5日に稲沢ロータリークラブに入会させていただきました、石黒港と申します。足立三千夫先生に推薦していただき、入会させていただきました。1972年6月4日生まれの51歳となりました。

職業は、不動産業を経営しております。妻一人、子どもが二人おります。男の子が二人です。長男は23歳で社会人一年目になります。次男は大学一年生になります。

私自身は生まれも育ちも愛知県みよし市となります。結婚を機に、妻の生まれ育ったこの稲沢市に住む事となりました。26歳の年であったと思います。稲沢市にお世話になって25年目となります。

幼少期はとにかく落ち着きのない子どもであったと聞いておりますし、自覚もあります。とにかく運動は好きで、足だけは速かったと思います。運動会においては、常にリレーのアンカーを任されておりました。中学校までは、女の子からはもてておりました。足が速いだけでしたが、そんな時代でした。高校に入学と同時に陸上部に入部し、三年生の時にはインターハイに出場しました。400mハードルと言う種目でした。残念ながら、4台目で転んでしまい、予選敗退でした。

それ以降、大学を卒業するまでは、バブルが崩壊した時代でしたが、私自身も崩壊していたように思います。とにかく遊んでおりました。その頃の人生のピークは、インターハイのスタートラインに立っていた時です。

大学は4年で卒業でき、無事に就職できましたが、深い考えもなく不動産関係企業に就職しました。それが二十数年たった今も続けております。

独立するきっかけとなったのは、転勤でした。転勤をお断りし、退職する事となりました。まだ12年目となりますが、何とか続けられております。

独立した当初は、自分が生まれ育った場所ではないのでつてが全くなく悩んでおりました。そんな時に、長男がスポーツ少年団に入っておりましたので、見学しに行ったところ、運営を手伝ってくれないかと頼まれ、毎週土日に練習等に参加しておりました。そこで子どもが同級生のお父さんにお誘いいただき、稲沢商工会議所青年部に入会させていただきました。10年間お世話になり、昨年50歳で卒業させていただきました。

また、次男が昨年まで足立先生の学校でお世話になっておりましたので、稲沢ロータリークラブに入会させて頂く機会を頂きました。

とにかく、独立して以降、子どもをきっかけに地域の団体に入会する事となり、自分自身の人生もそこで大きく変わっていったように思います。

ロータリークラブは、国際的な社会貢献団体ではありますが、まずは、稲沢市の発展に少しでも貢献できる企業、人となれるように、皆様とともに活動していければと思っております。

まだまだ力不足のところはございますが、今後ともご指導賜りますようよろしくお願い申し上げます。



## 加藤亮介 会員

吉川貴祥さんにご紹介いただき、昨年入会させていただきました加藤亮介です。1976.7.30生まれ、47歳。生まれも育ちも稲沢市祖父江町です。

幼少期に母を亡くし、父と兄、祖父母と生活を共にしておりました。小・中学生時代は野球に没頭し、中学時代に肩を壊してしまい、その後はバレーボールに熱中しておりました。

高校は地元の尾西高校に入学。16～18歳まではコンプライアンスの問題にて割愛させていただきます。

19歳で東和レジスターに入社。この頃、同級生だった妻とお付き合いが始まり、20歳の頃に独立し、レジスター販売の代理店を設立。27歳で結婚をし、その後二人の男の子に恵まれました。

30歳の時に、測量事務所を営んでいた義父が木の上から落下し脊髄損傷の大けがを負い、車いすの生活をよぎなくされた事をきっかけに、レジスターの会社と並行して、土日は測量の仕事を開始。

その後、義父が会社をたたむ事となり、独立して『株式会社ビックブリッジ』を設立。現在は、測量・建築リフォーム業・不動産業・飲食業（OREGAYAREBA）を営んでおります。

その中でも、OREGAYAREBAへの思い入れは強く、店名には『地元のみんが、おれが何かやれば地域が活性化すると思って立ち上がってほしい』という願いが込められています。友人が栽培する地元産の野菜や果物を使い、『地産地消』を目指しており、従業員も全員が祖父江町在住か出身者で、地元の雇用創出にも力を入れております。

幼い頃に母を亡くし、地域のみんが母となり自分を育ててくれました。その時の支えや助けは感謝となり、今でも私の人生の道しるべとなっています。若い頃は、都会の生活に憧れ、祖父江町を出たいと思っていた時期もありました。

しかし、こうして人生の軌跡を辿った時、私

の中には『感謝』の思いが募り、この思いを伝えるべく、祖父江町での事業と、街の活性化を目指しました。地域に根ざすという事は、自分を育ててくれた『故郷』を身に染み込ませ、『故郷』を誇りに思う事。社会を創り出すためには、土台がしっかりとしていなければならない。その土台とは、紛れもなく『地域』だと思います。

だから、子供達には『広い社会に参加し、その在り方を議論し、判断して社会を創っていく力』を育てて欲しいと願っています。

そして『地域』の温かさで、安全な支えによって生かされている事を感じてほしい。子供達には、将来、行き詰まるような事があった時、祖父江町を思い出し、戻って来たらいつでも温かく待っていてくれる『故郷』がある事を忘れないでほしい。故郷には自分の軌跡があり、自分の生きてきた証がある。

私は、故郷が自分の中にしっかりと息づいていて、それがまた子供達へと繋がっていく事に希望を感じております。

そのために自分が出来る事は何かと考え、現在に至るまで、『祖父江町商工会青年部部長・国府宮はだか祭り祖父江町厄年奉賛会会長・稲沢商工会議所青年部YEG幹事・稲沢市観光協会理事・祖父江町商工会理事・祖父江町青年飲食部部長・丸甲小学校PTA会長・祖父江中学校PTA会長』など、諸活動を通して地域を愛する心を育てると共に豊かな心と生きていく力、感謝する気持ちを大切に出来る心の育成の一助になりたいと思ひ務めさせていただきました。

そうした活動の中で、さまざまな皆様とのご縁をいただき、稲沢ロータリークラブへ入会するご縁もいただきました。このご縁を大切に、メンバーの皆様とも協力し合い、稲沢市を活性化、発展させていき、将来を担う若い世代へこの熱い想いを継承していければと思っております。



## ◇◇2023-24 年度新会員(入会 3 年未満)オリエンテーション開催の報告◇◇

報告者：クラブ奉仕委員長 樋田文裕

10月21日(土)午後5時より名駅近くの貸会議室で新会員7名と会長・幹事、担当委員会2名、親睦委員長、そしてスピーカーとして浅井会員と宮崎会員の出席のもと開催をしました。

最初の1時間は、ローター用語や組織についての説明を行ない、後半は姉妹クラブの説明のあと、スピーカーのおふたりにそれぞれの入会のいきさつやこれまでローターで得たことや感じたことを語っていただきました。

終了後、移動してミッドランドの最上階にあるオープンテラスで三根直前会長も加わって、バーベキューを食しながら楽しく歓談をする予定でしたが、その日に限って強風で気温も上がらず冬の寒さとなってしまいました。食事もままならず震えながらの会話で、結局1時間ほどで切り上げることとなりました。今後開催することがあれば断然「室内」をお勧めします。参加された皆様にはあのような状況の中、最後までお付き合いいただき心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

